



#### **CSR CHALLENGE COMPANY EXAMPLES**

## Contents



А	\^	 		 •

挨拶	さいたま市長 ······· <b>2</b>
挨拶	さいたま市CSR推進会議委員長 <b>3</b>
さいた	ま市のCSR施策 ······· <b>4</b>
さいた	ま市CSRチャレンジ企業本誌掲載企業一覧・目次 ······· {
さいた	ま市CSRチャレンジ企業一覧 ······· <b>9</b>

- 01 株式会社インター・アート・コミッティーズ …… 10
- 02 株式会社ジャパンビバレッジエコロジー …… 12
- 03 株式会社タウ …… 14
- 04 株式会社チェリービー …… 16
- 05 株式会社東京理工舎 …… 18
- 06 株式会社日さく …… 20
- 07 望月印刷株式会社 …… 22
- 08 株式会社八洲電業社 …… 24
- 09 株式会社渡辺製作所 …… 26
- 10 株式会社イシクラ …… 28
- 11 大宮通運株式会社 …… 29
- 12 株式会社オカモト …… 30
- 13 株式会社ケント・コーポレーション …… 31
- 14 サイエンス株式会社 …… 32
- 15 埼玉コンサルタント株式会社 …… 33
- 16 埼福工業株式会社 …… 34
- 17 株式会社サイボウ …… 35
- 18 株式会社三和 …… 36
- 19 株式会社鈴や商事 …… 37
- 20 第三交通株式会社 …… 38
- 21 株式会社タイネツ …… 39
- 22 株式会社タキザワ製薬 …… 40
- 23 株式会社中央測地 ……41
- 24 日本自動機工株式会社 …… 42
- 25 株式会社フォレストファミリー …… 43
- 26 三倭観光株式会社 …… 44
- 27 武蔵オプティカルシステム株式会社 …… 45
- 28 ユニオントレーディング株式会社 …… 46
- 29 和光建設株式会社 …… 47



## 株式会社 日さく



## 業歴 100 年超を誇る水と大地の総合エンジニアリング企業

事業内容

1912年、国内初の機械施工による井戸 掘削会社として産声を上げ、以後、100 年以上にわたり井戸掘削にこだわり事業 を続けています。高度経済成長期に業容

を拡大し、地質調査や特殊土木分野にも進出しました。 さく井・地質調査・土木の3部門を生業とする唯一の 全国規模の企業として、また業界のリーディングカンパ ニーとしての自負を持って社員一同、業務に邁進してい ます。最近は新分野として、井戸の付加価値を高めるた め地下水情報を活用したコンサルティング業も手掛け、 事業拡大をめざしています。海外事業への展開と社会 貢献を意図した ODA 事業にも積極的に関わり、1970 年ごろからアジア、中東、アフリカや中南米での多くの プロジェクトに携わってきました。





**CSRI** 対する 取組

彩の国ロードサポート制 度に参加し、鴻巣市内に ある当社埼玉工場が隣接 する道路、鴻巣・川島線

の清掃活動を行っています。また、「社 内提案制度 | が奏功して、女子社員の 提案から大宮事務所敷地内に防災井戸 の掘削・整備を進めて、2018年に完 了させました。非常時に町内会や地域 住民の方々の防災井戸として活用できる ようになっています。また、さいたま市 が中心となって実施している「打ち水大 作戦」にも10年以上前から参加してい ます。その他、健康経営優良法人認定 制度を活用し、全社的に従業員や協力 会社も巻き込んで健康経営を推し進め ています。海外向けの CSR 活動として、 森林伐採の軽減や貧困の撲滅のため、 ゴリラ・ハイランズ・コーヒーの購入に も取り組んできました。



取組の 成果

大宮事務所に設置した防災井 戸は、地域社会に役立つ施設 となっています。また、当社 の多様な CSR 活動への取組

を社内報等で広報していくなかで、社員同 士での情報の共有化に道筋がついて、CSR の大切さという価値観が広がってきています。



今後の 目標

CSR 活動を単なるボランティ ア活動で終わらせるのではな く、将来的な SDGs 活動に発 展させて、最終的には本業の

ビジネスといかに結び付けていくのかを目標 としています。社員にも、実施している CSR 活動が本業とどのような関わりがあるのかを 理解してもらい、活動の幅が広がり、積極 的に参加するようになればと思います。



会社概要

代表者: 若林 直樹

■創 業:1912年

■本 社:さいたま市大宮区桜木町4-199-3

■電 話:048-644-3911 ■ F A X: 048-644-3958 https://www.nissaku.co.jp/

## 代表に聞く当社の取組

株式会社日さくは、2003 年に本社を東京からさいたま市内に移転させたことを機に、「地元企業」として 積極的に地域貢献に取り組んできました。今回の認証をこれまでの CSR 活動から SDGs 活動に発展させ る絶好の機会と捉え、継続していく考えです。

#### ――さいたま市の CSR チャレンジ企業認証制度に応募 した理由をお聞きしたいのですが?

これまでの CSR 活動の結果、社内の CSR に対する 意識が向上してきています。そこでさいたま市の CSR チャレンジ企業の認証を受けることで、企業としての認 知度向上と、さらなる社員のモチベーションアップが期 待できると考え応募しました。これを機会に CSR 活動 を通じた経営革新を図っていきたいと考えています。

#### ――さいたま市に対して、特に思い入れがあるそうですね。

当社は 2003 年に東京からさいたま市内に本社を移転しました。埼玉県内の企業として地域に貢献したいという社長以下の強い思いがあります。地域貢献を企業の行動指針の1つにあげて、事業を行っています。

#### 

CSR 活動が本業とどのように関わりがあるのか、あまり社員に理解されていないと感じていました。そのため、「面倒くさい」、「ただボランティアをやらされているだけ」、という意識が社内の一部で散見されていました。それを克服するために、さいたま市の CSR チャレンジ企業認証制度に応募したり、社内報などを通じて「見える化」や「見せる化」に力を入れています。すこしずつ意識が高まってきていると思います。

## ----CSR 活動を通じて、社員の皆様にお伝えしたいことは?

社員には日さくで仕事することが社会に役立っている と自覚してほしいです。利益ではなく社会や地域へどう 貢献していくか、日さくはこんな会社であるということも 知ってもらいたいです。

### 株式会社日さくの SDGs 🝀



























代表者: 若林 直樹 氏

## ——CSR 活動から SDGs へのつながりについてのお考えは?

さいたま市や埼玉県とも連携して SDGs の 6 の「水につながる活動」へ発展していきたいと思います。地球規模で貧困をなくすため安全な水の提供と清潔なトイレの整備は必須です。これから永続的な事業へつながるようにしていきたいと思います。

## ――それぞれの現場でも独自の CSR 活動に取り組んでいるというお話ですね。

各工事現場でもそれぞれの工事環境に対応した CSR 活動に取り組んでいます。近隣住民の方々へ配慮したコミュニケーションを取り、以前と比較し、工事作業中の近隣トラブルが激減してきています。

#### 

健康経営優良法人の認定に最も力を入れています。 顧客満足度を向上させるためには、まず社員の会社や 仕事への満足度の向上が必須であり、重要であると考え ています。そこで当社だけでなく協力会社も巻き込んで 健康経営に取り組んでいます。

#### ---CSR 活動の事業への影響についてお聞きします。

CSR 活動の社内への定着が進展することによって、 若い社員の定着率が向上し、求人応募学生が増加する など良い影響が出始めています。

また当社は、複数分野における専門家集団が集まった会社となっています。そのため、自身の関心や交流についても同じ分野との関わりが中心になりがちです。 CSR活動を実践するなかで、関心のある分野が広がり、他の部署との人たちと交流も盛んになり、社内が活性化するようになっています。



# 発行日 令和3年3月 発行 さいたま市

〒330-9588 さいたま市浦和区常盤6-4-4

編集

さいたま市経済局商工観光部経済政策課

電話:048-829-1362 FAX: 048-829-1944

制作

株式会社ぶぎん地域経済研究所



この「さいたま市CSRチャレンジ企業事例集」は、 1,000部作成し、1部当りの印刷費用は986円(税込)です。

本資料の全部または一部を無断で複写し、利用することを禁じます。